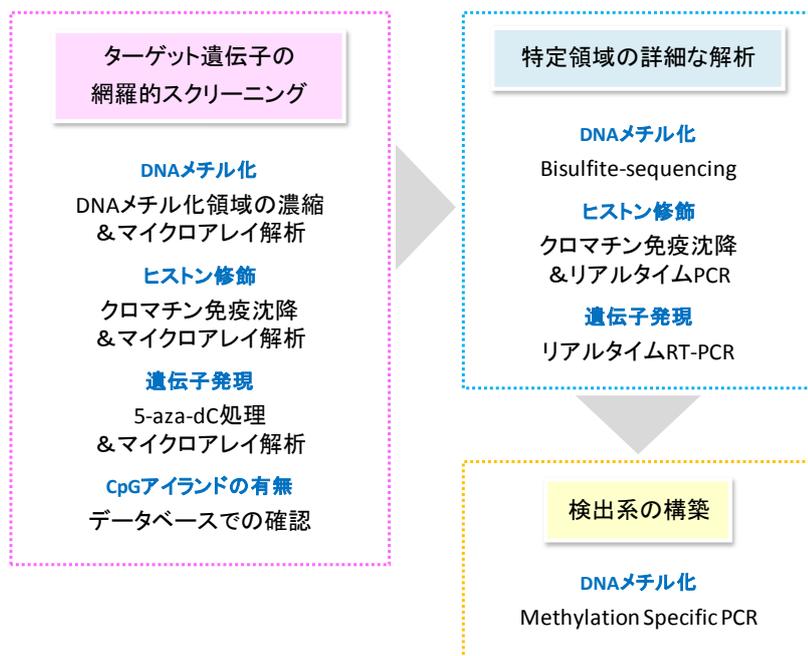


はじめに

エピジェネティクスの解析手法は、DNAメチル化解析やヒストン修飾の解析など多岐にわたります。「何から始めれば良いのか・・・」と迷ってしまいそうですが、これから始める実験の目的は次のどれでしょうか？

- ① 未知のターゲット遺伝子のスクリーニング
- ② 既知の特定領域の詳細な解析
- ③ 既知の特定領域の検出系の構築

例えば、以下に示したのは、スクリーニングから検出系構築までの一般的な実験の流れです。まず、主にマイクロアレイを用いた解析でターゲット遺伝子のスクリーニングを行い、次に、絞り込んだ候補遺伝子について、バイサルファイトシーケンス解析等により詳細な解析を行います。そして、最後に、Methylation Specific PCR の検出系を構築しておく、その後の多検体の解析に利用できます。



このように、実験目的によって、それに適した解析手法は異なります。この図を参考に目的に合った実験手法を見つけて、「エピジェネティクス実験ガイド」の各種実験手法をご参照ください。また、実験例とお勧めの関連製品も併せてご紹介していますので、皆様の日々の研究にお役立て頂ければ幸いです。

2009年12月